

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 クリアル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2998 URL <https://corp.creal.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大造  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 経営企画部長 (氏名) 金子 好宏 (TEL) 03-6264-2561  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	21,044	28.0	3,562	61.4	980	79.1	941	89.7	647	92.6
2023年3月期	16,436	55.3	2,206	42.0	547	74.5	496	93.0	336	95.0

(注) 包括利益 2024年3月期 648百万円(91.9%) 2023年3月期 337百万円(94.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	111.42	106.80	18.9	3.3	4.7
2023年3月期	65.98	62.41	16.2	3.1	3.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(注) 当社は、2022年4月28日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は新規上場日から2023年3月期末までの平均株式を期中平均株数としてみなして算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	35,749	3,806	10.5	641.48
2023年3月期	21,492	3,111	14.4	540.80

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,757百万円 2023年3月期 3,099百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△1,211	△134	2,906	7,759
2023年3月期	1,290	△122	3,572	6,198

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	43,600	107.2	4,750	33.3	1,350	37.7	1,250	32.8	850	31.3	145.12

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	5,857,500株	2023年3月期	5,731,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期	158株	2023年3月期	21株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	5,811,919株	2023年3月期	5,094,882株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	20,340	76.4	874	67.1	856	62.8	640	77.4
2023年3月期	11,530	101.0	523	196.6	525	214.3	361	128.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	110.21		105.64					
2023年3月期	70.87		67.03					

(注) 当社は、2022年4月28日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は新規上場日から2023年3月期末までの平均株式を期中平均株数としてみなして算出しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	35,247		3,720		10.4		627.01	
2023年3月期	20,546		3,030		14.7		526.94	

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,672百万円 2023年3月期 3,019百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型が2類相当から5類へ移行されて以降は、経済社会活動の正常化が進み緩やかな回復が見られました。また、消費者物価指数が継続的に2.0%を超過し賃金の上昇にも波及したことを受け、日本銀行が10年国債金利の変動許容幅の拡大や17年ぶりとなるマイナス金利の解除を決定するなど金融政策の大きな節目を迎え、デフレからの本格的な脱却が期待されます。海外経済については、諸外国の金融引締めは一服しましたが、米国経済は想定を上回るインフレが続いており日本と先進各国との金利差縮小には一定の時間がかかるとの見通しも生まれ、引き続き円安やエネルギー価格の高止まりなどが国内の物価上昇へと波及しております。ウクライナ情勢や中東情勢、中国経済の下振れなど、依然として先行き不透明な状況を注視する必要があります。

当社グループが属する不動産及び不動産クラウドファンディング業界におきましては、レジデンスや物流施設は安定稼働と底堅い投資需要が継続しており、また、新型コロナウイルス感染症に対する各種行動制限の解除により、ホテルの宿泊者数がコロナ禍以前と同程度の水準まで回復したことを受け、ホテルアセットに対する投資需要の大きな回復が見られました。レジデンスのうちマンション市場におきましては、新築・中古ともに平米単価は上昇傾向を維持しています。また、日本の低金利と円安を背景にした海外投資家による国内不動産への投資需要が継続しています。一方で、当社グループの属する業界においては、日銀の政策変更や国内外の金融情勢の変化が及ぼす影響について、今後も注視する必要があります。

こうした環境の中、当社グループは「CREAL」サービスにおいて、東京23区を中心に一棟レジデンス、コリピングタイプのレジデンス、商業施設、物流施設、新設保育園、オフィス、ホテル、老人ホームの不動産ファンドをオンラインで提供し、運用資産残高とアセットタイプの拡充を図るとともに、着実に売却を実行することで、投資家会員数は6万人、累計投資金額は450億円を突破しました。「CREAL PB(※)」サービスでは、中古ワンルームマンションの販売本数を伸ばしました。そして「CREAL PRO」サービスにおいては、前期に続き海外機関投資家を対象に国内レジデンスを複数組み入れたファンドを組成したことや、富裕層投資家に対する物件の仲介を行ったことにより手数料及びアセットマネジメントフィーの増加につなげることができました。一方で、事業拡大に伴い先行投資も含めた人員の拡充が進み、人件費が大きく増加をいたしました。

この結果、売上高は21,044,942千円(前年同期比28.0%増)、売上総利益3,562,132千円(前年同期比61.4%増)、営業利益980,389千円(前年同期比79.1%増)、経常利益941,007千円(前年同期比89.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益647,565千円(前年同期比92.6%増)となりました。

なお、当社グループは資産運用プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

※ 第1四半期連結会計期間の期首より「CREAL Partners」は「CREAL PB」にサービス名を変更し、プロパティマネジメントサービスを「その他」としております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は35,749,123千円となり、前連結会計年度末に比べ14,257,089千円増加しております。これは主に、事業拡大に伴う現金及び預金の増加1,661,486千円、預託金の増加327,036千円、販売用不動産の増加13,480,601千円、本勘定振替による仕掛販売用不動産の減少644,986千円、販売用不動産への振替等による有形固定資産の減少541,929千円によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は31,942,187千円となり、前連結会計年度末に比べ13,561,371千円増加しております。これは主に、「CREAL」事業拡大に伴う匿名組合出資預り金の増加10,413,940千円、短期借入金の増加4,022,986千円、返済による長期借入金の減少1,126,484千円によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,806,935千円となり、前連結会計年度に比べ695,717千円増加しております。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上647,565千円によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度に比べ1,561,486千円増加し7,759,623千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,211,263千円の支出（前年同期は1,290,251千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益883,476千円、匿名組合出資預り金の増加額10,413,940千円の影響により資金が増加し、預託金の増加額327,036千円、棚卸資産の増加額12,298,797千円、法人税等の支払額410,656千円の影響により資金が減少したことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは134,776千円の支出（前年同期は122,801千円の支出）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出100,000千円、本社移転に伴う有形固定資産の取得による支出44,749千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,906,965千円の収入（前年同期は3,572,548千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,403,932千円により資金が減少した一方で、短期借入金の純減額4,022,986千円により資金が増加したことによります。

### (4) 今後の見通し

「人生百年時代」といわれる中、政府発表の「資産所得倍增プラン」の浸透とともに個人の資産運用は拡大傾向にあり、株式や債券など伝統的金融資産とは異なる特性を有する新たな投資先として、個人投資家の間でも不動産を中心とするオルタナティブ投資も注目を集めています。また、IT化が進んでいないといわれる不動産投資業界においては、大きなIT化の進む局面に来ており、当社グループではITプラットフォームの有無、運用プロセスのDX化が競争優位性を持ち始める時代に入ると考えています。資産運用の多様化とIT化が進展する環境において、不動産ファンドオンラインマーケット「CREAL」、実物不動産への投資を通じた資産運用サービスの「CREAL PB」は、より大きな成長機会が見込まれる事業環境にあるものと認識しています。

このような環境の中、当社グループにおいては、主力事業である不動産ファンドオンラインマーケット「CREAL」の認知度向上を、事業提携も含めた各種マーケティング施策の実行により推し進め、新規投資家の獲得を図っていきます。投資家会員数の増加は、当社にとって多様で良質な不動産投資案件の提供機会の拡充につながり、比較的規模の大きな案件を取り扱えることにより、大型不動産を投資対象とした私募ファンド組成等を通じて「CREAL PRO」の機関投資家等へのクロスセルにつなげていくことができます。また、投資家会員の中には、「CREAL」での小口での投資を契機に、実物不動産への投資を希望する投資家層も多く、そうした層に働きかけることで「CREAL PB」へのクロスセルにもつながります。このような不動産ファンドオンラインマーケット「CREAL」を軸とした、各種事業間シナジーの発揮により、事業成長をしていく方針です。

次期（2025年3月期）の業績見通しにつきましては、上記に掲げる成長戦略を着実に実施することで売上総利益の拡大を見込む一方、人件費を含む開発費用のほか、認知度向上のための広告宣伝費等の積極的な先行投資を行っていくことで、売上高43,600百万円（前年同期比107.2%増）、売上総利益4,750百万円（前年同期比33.3%増）営業利益1,350百万円（前年同期比37.7%増）、経常利益1,250百万円（前年同期比32.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益850百万円（前年同期比31.3%増）を見込んでおります。

なお、当社グループの物件売上については、物件をお客様に引渡しした時点で売上高を認識しているため、物件引渡しのタイミングによっては、各四半期において売上高及び利益が偏重することがあります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社間の比較可能性を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。IFRS（国際財務報告書基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ国内の同業他社の適用動向等を鑑み、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,198,136	7,859,623
預託金	1,353,085	1,680,122
売掛金	21,577	28,638
販売用不動産	10,998,323	24,478,925
仕掛販売用不動産	929,180	284,194
貯蔵品	673	426
その他	370,398	270,145
貸倒引当金	△37,299	-
流動資産合計	19,834,078	34,602,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	774,463	373,337
土地	681,824	479,063
リース資産	-	14,280
建設仮勘定	19,448	-
その他	7,011	21,047
減価償却累計額	△77,950	△24,860
有形固定資産合計	1,404,797	862,868
無形固定資産		
その他	1,260	556
無形固定資産合計	1,260	556
投資その他の資産		
投資有価証券	7,025	-
長期貸付金	2,424	-
繰延税金資産	130,794	192,349
その他	142,502	169,422
貸倒引当金	△30,850	△78,149
投資その他の資産合計	251,896	283,623
固定資産合計	1,657,954	1,147,047
資産合計	21,492,033	35,749,123

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	676,914	4,699,900
1年内返済予定の長期借入金	504,380	504,932
リース債務	-	3,141
未払法人税等	241,248	174,169
賞与引当金	-	110,000
転貸損失引当金	3,345	32
クラウドファンディング預り金	3,506,066	3,334,528
匿名組合出資預り金	10,870,030	21,283,970
その他	670,160	1,082,062
流動負債合計	16,472,144	31,192,736
固定負債		
長期借入金	1,849,416	722,932
リース債務	-	10,039
転貸損失引当金	32	-
その他	59,222	16,479
固定負債合計	1,908,670	749,451
負債合計	18,380,815	31,942,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,052	1,245,424
資本剰余金	1,139,052	1,145,424
利益剰余金	719,076	1,366,642
自己株式	△25	△686
株主資本合計	3,097,156	3,756,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,273	-
為替換算調整勘定	-	560
その他の包括利益累計額合計	2,273	560
新株予約権	10,146	47,916
非支配株主持分	1,641	1,652
純資産合計	3,111,217	3,806,935
負債純資産合計	21,492,033	35,749,123

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	16,436,599	21,044,942
売上原価	14,229,907	17,482,809
売上総利益	2,206,691	3,562,132
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	277,848	508,253
支払手数料	155,862	207,857
支払報酬	94,742	85,559
役員報酬	117,494	106,236
給料及び手当	438,077	689,614
賞与引当金繰入額	-	110,000
法定福利費	82,019	133,735
減価償却費	56,517	48,051
貸倒引当金繰入額	28,549	10,000
その他	408,216	682,435
販売費及び一般管理費合計	1,659,326	2,581,743
営業利益	547,365	980,389
営業外収益		
受取利息	38	53
受取保険金	-	1,007
違約金収入	800	400
業務受託収入	-	1,000
還付加算金	189	480
その他	42	161
営業外収益合計	1,070	3,102
営業外費用		
支払利息	38,622	42,473
社債利息	1,933	-
上場関連費用	11,763	-
その他	56	11
営業外費用合計	52,375	42,484
経常利益	496,060	941,007
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4,516
特別利益合計	-	4,516
特別損失		
固定資産除却損	-	185
特別損失合計	-	185
匿名組合損益分配前税金等調整前当期純利益	496,060	945,337
匿名組合損益分配額	△3,341	61,861
税金等調整前当期純利益	499,401	883,476
法人税、住民税及び事業税	265,740	296,252
法人税等調整額	△102,631	△60,352
法人税等合計	163,109	235,899
当期純利益	336,292	647,576
非支配株主に帰属する当期純利益	120	10
親会社株主に帰属する当期純利益	336,172	647,565



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	336,292	647,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,417	-
為替換算調整勘定	-	560
その他の包括利益合計	1,417	560
包括利益	337,710	648,137
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	337,590	648,126
非支配株主に係る包括利益	120	10

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	379,000	279,000	382,904	-	1,040,904
当期変動額					
新株の発行	855,205	855,205			1,710,410
新株の発行(新株予約権の行使)	4,847	4,847			9,695
親会社株主に帰属する当期純利益			336,172		336,172
自己株式の取得				△25	△25
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	860,052	860,052	336,172	△25	2,056,252
当期末残高	1,239,052	1,139,052	719,076	△25	3,097,156

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	855	-	855	2,696	1,520	1,045,976
当期変動額						
新株の発行						1,710,410
新株の発行(新株予約権の行使)						9,695
親会社株主に帰属する当期純利益						336,172
自己株式の取得						△25
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,417	-	1,417	7,450	120	8,988
当期変動額合計	1,417	-	1,417	7,450	120	2,065,241
当期末残高	2,273	-	2,273	10,146	1,641	3,111,217

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,239,052	1,139,052	719,076	△25	3,097,156
当期変動額					
新株の発行					-
新株の発行（新株予約権の行使）	6,372	6,372			12,744
親会社株主に帰属する当期純利益			647,565		647,565
自己株式の取得				△661	△661
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	6,372	6,372	647,565	△661	659,648
当期末残高	1,245,424	1,145,424	1,366,642	△686	3,756,805

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	2,273	-	2,273	10,146	1,641	3,111,217
当期変動額						
新株の発行						-
新株の発行（新株予約権の行使）						12,744
親会社株主に帰属する当期純利益						647,565
自己株式の取得						△661
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,273	560	△1,712	37,770	10	36,068
当期変動額合計	△2,273	560	△1,712	37,770	10	695,717
当期末残高	-	560	560	47,916	1,652	3,806,935

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	499,401	883,476
減価償却費	62,361	63,799
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28,549	10,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	110,000
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△6,773	△3,345
受取利息及び受取配当金	△47	△214
支払利息	40,555	42,473
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△4,516
預託金の増減額 (△は増加)	△824,796	△327,036
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,343	△7,060
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,775,821	△12,298,797
前渡金の増減額 (△は増加)	△55,226	△1,725
未払金の増減額 (△は減少)	169,809	196,249
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82,023	92,073
クラウドファンディング預り金の増減額 (△は減少)	2,940,248	△171,538
匿名組合出資預り金の増減額 (△は減少)	3,341,970	10,413,940
預り敷金の増減額 (△は減少)	71,462	122,035
その他	133,373	114,241
小計	1,536,699	△765,944
利息及び配当金の受取額	47	214
利息の支払額	△61,779	△56,784
法人税等の支払額	△202,561	△410,656
法人税等の還付額	17,845	21,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,290,251	△1,211,263
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△20,453	△44,749
無形固定資産の取得による支出	-	△661
投資有価証券の取得による支出	△600	△100
投資有価証券の売却による収入	-	8,166
貸付けによる支出	△4,500	-
貸付金の回収による収入	581	3,918
敷金及び保証金の差入による支出	△81,584	△400
その他	△16,244	△950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,801	△134,776

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	422,614	4,022,986
長期借入れによる収入	2,581,576	278,000
長期借入金の返済による支出	△566,140	△1,403,932
社債の償還による支出	△583,200	-
リース債務の返済による支出	-	△2,526
株式の発行による収入	1,717,723	13,099
自己株式の取得による支出	△25	△661
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,572,548	2,906,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,739,998	1,561,486
現金及び現金同等物の期首残高	1,458,138	6,198,136
現金及び現金同等物の期末残高	6,198,136	7,759,623

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、資産運用プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	540.80円	641.48円
1株当たり当期純利益	65.98円	111.42円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	62.41円	106.80円

(注) 1. 2022年4月28日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,111,217	3,806,935
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	11,787	49,569
(うち新株予約権(千円))	(10,146)	(47,916)
(うち非支配株主持分(千円))	(1,641)	(1,652)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,099,429	3,757,366
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,731,179	5,857,342

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	336,172	647,565
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	336,172	647,565
普通株式の期中平均株式数(株)	5,094,882	5,811,919
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	291,516	251,520
(うち新株予約権)(株)	(291,516)	(251,520)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。